

令和 2 年度 県立岩瀬高等学校自己評価表

目指す 学校像	<input type="radio"/> 社会でより良く生きていくために必要な資質・能力を身に付けることができる学校 <input type="radio"/> 将来のあるべき姿をイメージしながら、自己のキャリアについてしっかり考え、最良の選択ができる学校 <input type="radio"/> 「自分の中の力を伸ばせ」という校訓のもと、明るく伸び伸びと個性を輝かせることができる学校		
昨年度の成果と課題	重点項目	重点目標	達成状況
<p>学校の授業が大切である と考える生徒は多数いるが、 家庭学習が習慣化されてい ない。「学ぶこと」への興 味・関心・意欲を高め、基礎 学力の定着を図るとともに、 「主体的な学び」を実現す る。基礎学力が足りない生徒 への対応として、スタディサ プルの導入により基礎学力 を向上させる取り組みを行 う。</p> <p>目標設定が苦手な生徒が おり、授業、インターンシ ップ、学校行事等で学んだこ とや経験がキャリア形成に生 かせないのが現状であり、自 分の進路を選べない、決めら れない生徒がいる。</p> <p>学校を通じた就職希望者 の決定状況が 100%であ った。</p> <p>全体的に落ち着いている が、基本的な生活習慣の身に付 いていない生徒、頭髪服装や 公共マナー等に対する意識 の不十分な生徒が一部に見 られる。</p> <p>情報モラルが低い生徒が おり、的確な判断ができない ため、生徒間のトラブルに発 展するケースが見られた。</p> <p>多くの生徒が看護職に向 けて熱心に取り組んでおり、 目標に向かって真摯に努力 する姿勢が見られる。看護師 国家試験で昨年度 96%の 合格が達成できた。</p>	(1) 豊かな人間性の育成	<p>①「道徳」の授業や学校行事等の教育活動全体を通して、規範意識や豊かな人間性を養うとともに、他者や社会・自分とは異なる世界とどう関わるかを学ばせ、人間関係構築力やコミュニケーション力を培う。</p> <p>②「朝の読書」を継続して実施し、静かな時間を共有することにより豊かな情操と人間性を育む。</p> <p>③実習や地域との連携した教育活動を通して、医療人(看護師)としての高い倫理観と使命感を育てる。</p>	A
	(2) 学習意欲の向上	<p>④授業改善とともに、学習評価の在り方を検討しその充実に努めることで、「探究的に学ぶ」姿勢を育む。</p> <p>⑤シラバスに掲げる授業目標の実現を目指し、実社会との関連を意図した教育を展開することにより、基礎学力を定着させ、学習への動機付けを高め、主体的な学びの姿勢を育む。</p> <p>⑥少人数授業・課外指導等を実施し、個に応じた発展的な学びを推進して学習意欲を高め、大学入試や国家試験に対応できる学力の向上を目指す。</p>	B
	(3) 基本的な生活習慣の確立と生徒指導の充実	<p>⑦全職員の共通理解・実践のもと、端正な身なり・明るい挨拶・時間厳守の習慣を身に付けさせる。</p> <p>特に、社会性育成の観点から「挨拶ができる生徒」の育成を目指す。</p>	A
	(4) キャリア教育の推進	<p>⑧「進路の手引き」等を活用し、種々の教育活動や行事等と関連づけながら一人一人のキャリアプランニング能力を高める。</p> <p>⑨実社会の様相や課題解決方法などを踏まえた適切な情報を提供し、生徒のよりよい進路選択に資する。</p> <p>⑩進路指導部と学年との連携を強化し、課外・小論文・模擬面接指導等を通し個に応じた指導の充実を図り、進路希望の実現を目指す。</p>	A
	(5) 魅力ある学校づくりと部活動・特別活動の活性化	<p>⑪生徒の主体的な取組を重視して、生徒会活動を一層充実させ、生徒会を中心とした魅力ある学校行事やホームルーム活動等を展開する。</p> <p>⑫主体的な特別活動の展開により、自己有用感を高揚させるとともに、HRや学校行事等においてキャリア・パスポートを活用し、自分の高校生活を見通したり振り返りをすることで自己理解を深めさせ、将来について考え主体的に学び続ける力を育む。</p> <p>⑬部活動への加入率を上げ、熱心に活動に励む部活動を積極的に評価することにより、自尊感情・活動意欲を高め、部活動全体の活性化を図る。</p>	B
	(6) 看護教育の充実・5年一貫看護師養成教育の充実	<p>⑭衛生看護科・専攻科衛生看護科の発達段階を踏まえ、5年一貫の利点を活かした教育活動を展開し、看護に関する知識・技術の習得を図り、将来のスペシャリストを育成するための基盤づくりに努める。</p> <p>⑮教科指導・実習指導を通して、看護職への自覚を高めるとともに、看護師としての職業観・倫理観の育成と人間的成長を目指した全人的教育に努める。</p> <p>⑯病院・施設等の関連機関との連携を深め、発展的な学びの場となるよう効果的な実習指導の展開を図る。併せて地域医療の担い手となる人材の確保に資するキャリア教育を展開する。</p>	A
	(7) 開かれた学校づくりの推進	<p>⑰地域社会と連携した教育活動を積極的に展開することにより、保護者・地域社会、近隣の小中学校、看護教育機関等との信頼関係を構築し、開かれた学校づくりを推進する。</p> <p>⑱本校の特色ある教育活動を積極的に報道機関に情報提供するとともに、ホームページ等で地域社会に発信し、本校の認知度を一層高めていく。</p>	A
	(8) 業務の効率化と働き方改革の推進	<p>⑲現行の業務内容について点検・見直しを行い、業務改善を推進し、生徒と向き合う時間の確保を図る。</p>	B

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度(学期)への主な課題
国語	1 基本的な国語力の向上を図る。	ア 漢字力テストなどの取り組みを通して漢字学習への意欲を高めさせる。⑤	A	A ・生徒の実態に応じ、生徒にとってわかりやすく興味を持てるような指導方法を工夫する必要がある。 ・新しい学習指導要領に向けての準備に取りかかる。 ・ICT活用について研修・実践を積んでいく。
		イ 話すこと・聞くことの指導を通して、柔軟な思考力や適切な判断力を身に付けさせる。①⑤	B	
	2 文意を的確に把握する能力を育成する。	ア 様々な優れた文章に触れさせ、的確に読みとる力を身に付けさせる。①②④⑤	A	
		イ 文の組み立て・語句の意味・文法などを理解し、語彙力を豊かにさせる。①②④⑤	B	
	3 思考力を伸ばし、豊かな心を培う。	ア 様々な文章を読んで、ものの見方・感じ方・考え方を広め深化させる。①②④⑤	A	
		イ 朝の読書等を活用し、生涯にわたって読書に親しむ習慣をつけさせる。①②	A	
ウ 新聞コラムを活用し、時事問題に対する関心や自らの考えを深めさせる。①⑤⑨		A		
4 表現力を育成し、伝え合う力を養う。	ア 書くことを通して、思考を整理する力や、自己表現能力を養わせる。④⑤	A		
	イ 自分の意思をより正確に伝える経験を積みながら、必要な表現力の基礎を身に付けさせる。①②	B		
5 進路目標の実現を図る。	ア 受験に対応した小論文の指導を行うなど、進路課外を充実させる。⑥⑩	A		
地歴・公民	1 現代社会でよりよく生きるために、自ら考える姿勢を養うとともに、解決する力を育成する。	ア 時事問題や国際的問題を取り上げ、現代社会の課題やその解決策を考えさせる。⑤	A	A ・生徒にとってわかりやすく興味を持てる指導をするため、ICTを活用した授業体制を充実させる。
		イ 消費者問題・ネット犯罪など、身の回りで起こる具体的な問題について発表させたりして考えさせる。④	B	
		ウ プリント学習などを通して、新聞・ニュースなどでつかわれる政治・経済に関する用語・略語などを理解できるようにするとともに、主権者教育として、主権者としての責務を考えさせる。④⑤	A	
	2 国際社会に生きる人間として、各国の歴史的事情を理解させるとともに、歴史的思考力を培う。	ア 日本史や世界史の授業で、図版・プリント・視聴覚教材等を用いて舞台となる地域の特徴を紹介する。④	A	
		イ 義務教育での歴史学習の復習をするとともに、それを発展させて歴史的事件の背景とその事件の意義を考えさせる授業を展開する。④⑤	A	
ウ 進学者には受験対応の課外を充実させ、就職者には社会人の教養を身に付けさせる。⑥⑨	B			
数学	1 授業を大切に、授業に主体的に取り組ませ、個に応じた指導ができるようにする。	ア 机間指導を充実させ、生徒同士の協働による対話的な学びを充実させ、主体的な学び、そして深い学びへと繋げる。④	A	A ・生徒の実態に応じ、生徒が興味・関心を持てるような授業、わかりやすい授業の工夫が必要であり、今後も展開できるように教材研究に努める。
		イ ICTの利用を含め、分かる授業を実践することによって、生徒を授業に集中して取り組ませる。④	B	
		ウ 苦手な生徒に対し、演習の時間などで個別に指導する。④	A	
	2 基礎的な計算力を身に付けさせる。	ア 週末課題に工夫を凝らした問題を出題し、主体的な学び、深い学びへと繋げ、授業中の問題演習を通して、計算力を身に付けさせる。④	A	
3 家庭学習の習慣を身に付けさせ、数学に対する深い学びに繋げる。	ア 週末課題の実施により、毎週末の家庭学習習慣を定着させ、数学に継続的に触れることにより、数学に対する深い学びに繋げる。⑤	B		
理科	1 基礎学力の向上を図る。	ア 単元ごとの到達度チェックや単元課題等の提出機会を設け、学習事項の定着を確認する。⑤	A	A ・生徒の資質・能力を育むため、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の視点で、授業改善を進め、学習活動(言語活動、観察・実験、問題解決的な学習など)の質を向上させる。 ・ICT機器の活用のある方について、調査研究を継続する。
		イ 成績不振者に対しては学期ごとに補講(学びなおし)を行うなど、学習フォロー体制を充実させる。⑤⑥	A	
	2 分かる喜びを実感させる。	ア 生徒の実態に合った授業を展開し、理解の定着を図る。④⑤	A	
		イ 実験や観察を取り入れ、生徒の興味・関心を引き付ける授業を展開する。④⑤	A	
		ウ ICTを活用した教材を作成し、遠隔授業にも対応できる体制を構築する。④	A	
3 豊かな科学的素養を涵養する。	ア 科学的思考力、表現力、判断力を養う。⑤	B		
イ 身近な生活や自然環境と科学との関わりを重視した指導を行う。④⑤	B			
保健・体育	1 基本的習慣の徹底を図る。	ア 服装・集合時間などの基本的習慣を徹底させる。④⑤	A	B ・感染の拡大を予防した種目の選定や、生徒の実態に即した授業内容を構築できるよう、指導方法を工夫する。
	2 基礎体力の向上を図る。	ア 体力テストの結果をもとに個々の目標を設定させ、日々の生活で実践させる。⑤⑨	B	
	3 生徒の自主性を引き出す。	ア 生徒が自主的に実施できるような教材を提供し、積極的な活動に繋げていく。⑨⑩	B	

		イ 各自の能力に応じて具体的な目標設定をし、達成に向けて努力させる。⑨⑬ ウ ICTを活用し課題解決に向けた思考力・判断力・表現力などを育成し、主体的に取り組む姿勢を養う。④	B		
	4 保健学習を通し、健康的な生活習慣を身に付けさせる。	ア 知識の獲得だけでなく、生涯にわたり健康的な生活習慣を身に付けるきっかけとなるような学習内容を精選し、教材選定についても工夫していく。⑨⑫	B		
芸術	1 生徒が生涯にわたって芸術を愛好することができるよう、指導を工夫する。	ア 知識や技術偏重にならないよう、バランスの取れた指導を行う。④⑤	A	B	・生徒の実態を把握して生徒に合わせた教材研究を行い、指導方法を工夫する。
	2 生徒の個性を生かす指導方法を工夫する。	ア 生徒が自ら課題を見つけ、主体的、創造的に活動できる場を設定する。④ イ 各領域の幅広い活動を可能にする多様な題材の設定と教材を工夫する。④⑤	A B		
	3 指導に生かす評価を実施する。	ア 生徒自身の自己評価、相互評価を取り入れた評価を行う。④⑤	B		
英語	1 高校英語の基本的な知識の定着をねらい、指導方法を工夫する。	ア 1, 2年生の少人数クラスでは、暗唱・リーディングプラクティス等を実施し、きめ細かで丁寧な指導を行い、生徒の実態や個に応じた授業を展開する。⑥	A	B	・新教育課程を見据えて、生徒が英語を聞いたり、話したり主体的に活動する場面を増やす。 ・ICTをより多く取り入れ、生徒が異文化に興味を持ち、視野を広げるように指導方法を工夫する。
		イ ノートの作り方を指導し、予習・復習を促し、重要事項の定着を目指す。⑤	A		
		ウ 小テスト・単語テストなどを行い、基礎学力の向上を図る。⑤	A		
	2 実践的なコミュニケーション能力を育成する。	ア ALTを活用し、実践的なコミュニケーションの必要性、楽しみを実感させる。①④	A		
		イ クラスルームイングリッシュを使い、耳から入る英語を増やす。④⑤	B		
		ウ リスニング、ペアワーク、グループワーク、インタビュー等の活動を行い、生徒が主体的・協働的に英語を使用する場面を増やす。④⑤	A		
	3 学習意欲を増進させるように、関心・意欲を高める授業を実践する。	ア 地図・写真・ビデオ、英字新聞(Student Times)等を利用し、各単元に出てくる地域やテーマの背景・状況について理解を深めさせる。①④	B		
		イ コンピュータや視聴覚機器を利用して、異文化に興味を持たせる。①	B		
4 進路目標の達成を図る。	ア 英検受験を奨励し、個別に対策指導を行う。また、1年生全員と2, 3年生の希望者に全商英検を受験させ、合格者数を増やす。⑩	B			
	イ 課外授業や補習授業を充実させ、生徒からの質問を促し、自ら学習する態度を育てる。⑥⑩	A			
	ウ 外部模試の受験を奨励する。⑥⑩	B			
家庭	1 基本的な知識と技術の習得を図り、生活課題を解決できる能力を高める	ア 生徒が主体的に学習課題を見出して解決していく活動を中心に学習を進める。⑤	A	B	・課題発見の働きかけと解決に向けた情報の提示の工夫をする。 ・個人々々での実習できる環境を整える。
		イ 学習したことを活用して、生活課題の解決策を考察して、生活の改善につなげる態度を身に付ける。④	B		
	2 実習をとおして、課題に取り組む意欲と技術を身に付ける	ア 生徒の能力に合った個別指導を行い、技術の向上と達成感を体感させる。⑤	B		
情報	1 コンピュータの活用を通して、情報を適切に処理するための基礎的な知識と技能を習得させる。	ア 個に応じた学習を通して、コンピュータを活用する能力を身に付けさせる。⑤	A	A	・新教育課程を踏まえて、生徒の情報活用能力を高めていく。
		イ アプリケーションソフト(ワード・エクセル・パワーポイント)を活用し、情報処理能力の向上を図る。⑤	A		
	2 情報モラルについて考えさせ、情報の適切な扱い方を学ばせる。	ア 社会でよりよく生きていくために必要な、情報の扱い方や情報モラルを身に付けさせる。④	B		
商業	1 情報処理の基礎的な知識・技術の習得、及びビジネスの諸活動に活用する能力を育成する。	ア ビジネス活動における基礎的・基本的な技術を習得させ、将来の進路に役立たせる。⑤	B	B	・新型コロナウイルスの影響で、実施できなかった検定試験を実施し、合格を目指す。
	2 ビジネス諸活動における情報処理、プレゼンテーションに関する知識・技術の習得を図る。	ア ビジネス文書実務検定などを通して、コミュニケーション能力を高める。④	B		

	3 経営活動における会計処理に関する知識・技術の習得を図る。	ア 簿記会計に関する記帳方法や会計処理の能力等を、個に応じた学習を通して高める。⑤	B		
衛生看護科	1 看護師という職を通しての自己実現を目指す。	ア 予習・復習を奨励し、早期から国家試験を意識させた学習を工夫することで、学習習慣を確立させる。⑭	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的な学び、ICT機器の効果的な活用など、教育活動を充実する。 新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、安全な実習環境を整え、かつ効果的な実習が行えるよう関係機関と連携していくとともに、校内での代替実習の充実を図る。
		イ 5年間を見通した教科指導の充実を図る。その一環として、平常課外・長期休業中の課外・自由登校期間の学習を計画的に実施し、知識の定着を図る。⑭	A		
		ウ 定期的に模擬試験を実施し、早期から国家試験に対する意識を高めるとともに苦手分野を克服できるようにする。⑭	A		
		エ 国家試験対策ガイダンス・卒業生の体験談等を聴く機会を作り、国家試験の現状・対策方法などを把握させ、早期より国家試験勉強に取り組ませる。⑭	B		
		オ 看護学生としてのモチベーションを維持し、進級・卒業できるように生徒の個別性・習熟度に合わせた個別指導、進路ガイダンスや進路の手引きを活用した早期からの就職活動支援を充実させる。⑮⑯⑰⑱	A		
	2 臨地実習が円滑に運用できるようにする。	ア 生徒の実態や実習施設の意向を踏まえた実習事前指導・課題の提示・記録の見直し等を行う。⑮⑯	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 講話や体験学習等の機会を確保するとともに、日常の学習や生活を通して職業観や豊かな人間性を育む。
		イ 臨床の現場をより意識した校内演習（臨床指導者・保護者ボランティアの協力等）により、生徒の知識・技術の定着を図るとともに円滑な臨地実習の展開に努める。⑭⑯⑱	B		
		ウ 生徒の個別性・習熟度や施設の特異性・状況に応じた実習指導ができるように、実習先の指導者と共通理解を図り、連携した指導を行う。⑯	B		
		エ 生徒自ら実習の見通しを立て、看護の体験を通して知識・技術を活用できるよう、個々の実習目標および実習課題に沿った支援を行う。⑮⑯	A		
	3 責任ある看護師として活躍できる生徒を育成するとともに、看護師としての職業観・人間性の涵養に努める。	ア 生命・医療に関する講話、JICAや国際福祉機器展等の体験学習等を通し職業観の涵養に努める。③⑮	B	A	
イ ボランティア活動等を実施し、自己有用感を高め、奉仕の心と豊かな人間性の育成に努める。③⑫⑱		B			
ウ 教科指導・生活指導および看護科集会・戴帽式等の行事を通して、あるべき看護師像を考えさせることにより、看護科生徒としての自覚と医療に携わる者としての使命感・倫理観を高める。③⑫⑮		A			
エ 看護実践において情報を適切に活用できるよう、情報の信頼性を判断する能力および情報モラルを身に付けさせる。⑮⑯		A			
オ 身だしなみ・挨拶など看護者としての接遇や資質を高められるように、マナー講習会・生活指導を通して身に付けさせる。⑦⑮		A			
教務部	1 教育課程の適正化に努める。	ア 教育課程の定期的な把握を行い、生徒が基礎的・基本的な知識・技能を習得しやすい教育課程環境の維持に努める。⑤	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 新教育課程を作成できたが、暫定的なものしかできず、各教科の要望をまとめて完成させる。 各科目の年間指導計画を作成する。 ICTを活用した探究的な学びを目指した教員研修を充実する。 チャイムスタート、チャイム終了を継続させる。 学年主任会を実施し各行事の時間や内容などの情報収集に努め、その円滑な運営や改善を図る。
		イ 生徒の能力を測りながら、希望進路実現にかなう柔軟な教育課程を編成する。⑥	A		
	2 指導力の向上に努め、授業の充実を図る。	ア 各教科でシラバスを作成し、生徒の主体的に学習に取り組む態度を育成する。⑤	A		
		イ 教員相互の研修を充実させ、指導法の工夫、研究を図り、アクティブ・ラーニングの視点から不断の授業の充実改善に努める。④⑤	A		
	3 授業時間の確保を図る。	ア 学校行事の精選や出張・年休時の授業交換に努め、95%以上の授業を確保する。⑤	A		
		イ チャイムスタート、チャイム終了を徹底し、50分の授業の充実を図る。⑤	B		
		ウ 各校務部・各学年・各教科などとの連絡を密にし、各行事の時間や内容などの情報収集に努め、その円滑な運営や改善を図る。⑩⑪	B		
	4 開かれた学校づくりを目指す。	ア 各種学校案内業種からの要望に可能な限り対応し、本校の活動実績、魅力の発信に努める。また、スクールガイドの充実を図り、積極的に情報を提供する。⑲	A		
イ 保護者、中学校への広報、学校説明会等で、本校のよさを十分に発信できるように努める。⑱		A			

	5 校内ネットワークの整備を行う。	ア 茨城県立学校統合型校務支援システムを適正に運用し、正確な成績処理及び諸帳簿の作成に努める。 ④	B	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット等の使用、Wi-Fi利用や動画視聴等に係る規程を作成し、ネットワークの安全な運営を図る。 ・文学散歩や教養講座を実施し、豊かな人間性の育成を継続する。
		イ 他の分掌と連携しながら、分かりやすく魅力あるWEBページを編集し、本校教育活動の積極的な情報発信に資する。⑬⑱	A	
		ウ 教育情報ネットワークの円滑な利用をサポートする。	A	
		エ 校内ネットワーク、サーバの安定的な運用に努め、情報を共有することにより校務の負担軽減及び効率化を図る。	A	
		オ 情報セキュリティ対策や、ソフトウェア製品の脆弱性対策に努める。	A	
	6 図書館の環境整備を行う。	ア 調べ学習の円滑化と読書の推進を図るために、廃棄及び更新を適切に行い、利用しやすい環境を作る。 ②⑨	A	
		イ 季節や学校行事等に合わせたテーマ別コーナーを設置し、時流に応じた図書の見出しや情報の発信をする。①	A	
		ウ 教員のための研修の場としての環境を整える。①②	A	
	7 豊かな人間性の育成を図る。	ア 情勢に根ざした文化・教養の発信を図る。⑨⑩	A	
		イ さまざまな教養講座の体験を通して、豊かな人間性の育成を図る。①⑨	A	
8 図書委員会活動の活性化を図る。	ア 図書館行事の企画運営や図書館便りの発行によって、図書館の情報発信の担い手としての人材育成を図る。①⑪⑫	A		
進路指導部	1 生徒にとって有益な進路情報を提供し、適切な進路選択ができるよう促す。	ア 「進路の手引き」を活用し、自己理解・進路理解に向けた指導を行う。⑧	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「進路の手引き」の具体的な活用を指導する。 ・公務員希望者へ積極的な対策を構築する。 ・インターンシップの実施に向けて、生徒の興味関心に対応できる企業確保に努める。
		イ 進路ガイダンスや進路指導部通信の発行などを通して、生徒に有益な進路情報を提供する。⑧⑨	A	
		ウ インターンシップをとおして、就業意識や進路目標の設定を促す。①⑧⑨	B	
		エ 新大学入試制度についての理解を深め、生徒に適切な情報を提供する。⑨	A	
		オ 公務員講座や介護福祉初級講座など進路実現を促す場を提供する。⑧⑨	B	
	2 基礎学力の向上を図ると共に、希望進路に対応できる学力や思考力を身に付けさせる。	ア 各種課外を計画的に行い、学力の養成を図る。⑥⑩	A	
		イ スタディサプリ到達度テストと連動した朝学習の定着を図る。⑤⑩	A	
		ウ 模擬面接指導を通とおして、自己理解とコミュニケーション能力の養成を図る。①⑨⑩	A	
	3 各学年及び家庭との連携を深め、効果的な進路指導を目指す。	ア 各学年との連携を深め、進路指導についての共通理解を図る。⑩	A	
		イ 必要に応じて、保護者との進路相談の機会を設け、進路選択の支援をする。⑨	A	

生徒指導部	1 基本的生活習慣の確立を図る。	ア ネクタイ・パータイなどの身だしなみを整え、本校指定の制服を正しく身に付けさせ、規範意識を確立する。①⑦⑱	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員が情報共有を図り、個に応じた指導を実施し、問題行動の未然防止にあたる。 ・交通マナー違反が数件あり、登下校時の状況を把握するため定期的な巡回・立哨指導が必要である。
	2 高校生としての自覚を持ち、責任ある行動がとれるようにする。	ア 生徒指導に関する教員間の認識を統一する一つの方策として、朝と放課後の立哨を継続して実施する。⑦	A		
		イ 特別指導の減少を目指し、学年・担任を中心に生徒情報の共有化を図り、生徒の実態に応じたきめ細かな指導を行う。⑦	A		
		ウ 登下校の状況やスマートフォンの使用状況を定期的に点検・確認し、生徒たちが安全かつ安心して生活できるよう支援する。⑦⑱⑲	B		
	3 本校の「いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの防止に努め、実態把握およびいじめに対する措置を適切に行う。	ア 生徒の自己有用感を高め、生徒から相談しやすい関係を構築するとともに、定期的にアンケート調査を行い、生徒の実態を把握し、未然防止・早期発見に努める。①⑦⑱	A		
		イ 保護者から相談しやすい関係を構築するとともに、いじめの早期発見に努める。⑱	B		
		ウ いじめ発生の際には、被害者の心のケアや加害者への指導を適切に行い、早期解消に努める。⑱	A		
		エ 保護者と密接に連絡を取るとともに、必要に応じて関係機関と連携して対応する。⑱	A		
		オ 情報モラルやいじめについての事例研究や校内研修などの教職員研修を適宜に行う。⑱	B		
	(特別活動) 4 行事やホームルームにおける生徒会活動や部活動が活発化し、学校全体の活性化に繋げていけるよう指導に努める。	ア 各種行事の準備・運営ともに生徒会・各種委員会が中心となり生徒全員参加の活動をする。⑩⑫	B		
イ 部活動の充実を図り、少人数でも効果的な活動ができるような工夫を試みる。⑬		B			
ウ より充実した内容のHR年間指導計画を作成し、キャリア・パスポートを効果的に活用し生徒の主体的な活動へ繋げる。⑩⑫		B			
保健厚生部	1 健康に興味・関心を持ち、自己の健康状態を正しく把握できるようにする。	ア 健康診断・身体測定などの実施とともに、事後措置の徹底を図る。①	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度に引き続き、消毒液の準備や換気塔を徹底するとともに、生徒にはマスクの着用や手洗いうがい・3密を避ける等の注意喚起を呼びかけ新型コロナウイルス感染予防に努める。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった学校行事をどのような形で実施できるか検討する。
		イ 健康相談を実施し、生徒の健康の保持・増進を図る。①	A		
		ウ カウンセリング体制の整備と、カウンセリングルームの積極的な活用を図る。①	A		
	2 校舎内外の清掃の徹底、通学路を中心とした地域の美化に努める。	ア 清掃区域割り振り計画の策定と清掃用具の調達を行う。①	A		
		イ 学期末大掃除を実施する。①	A		
		ウ 年1回の校外清掃を実施する。①⑱	B		
	3 防災意識の高揚及び安全迅速な避難行動の確立。	ア 積極的・自発的な避難訓練を実施する。①⑱	A		
イ 震災の教訓を生かし、停電時の緊急連絡・緊急避難を想定して行う。①⑱		B			
渉外部	1 PTA活動の活発化に努める。	ア 育成・研修・広報の専門部を軸とした各種行事に多数の保護者が積極的に参加できるよう働きかける⑱	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・大人数で集まらなくても役員間の意見交換できる体制をつくる。
	2 PTA役員・保護者との緊密な連携を図る。	ア 評議員会等において、保護者からの率直な意見を出してもらいながら、話し合いの機会を充実させ、本校の教育に生かせるように努める。⑱	B		

事務部	1 学校の窓口としての的確な接遇を行う。	ア 電話や窓口等においては、誠意ある態度・応対によって県民サービスの向上を図るとともに、生徒や保護者との関わりを通じて相互の信頼関係を高めるよう取り組む。⑮	A	A	・施設の老朽化に伴い大規模な修繕箇所が増加していることから、県教委と連携を図り、計画的に大規模修繕を行い、施設の長寿命化に取り組む。
	2 予算を計画的・効率的に執行する。	イ 限られた財源の中、将来を見通した教育環境整備を図るため、計画的・効率的に予算を執行する。	A		
	3 安心安全な学校生活のための施設管理を行う。	ウ 学校施設の日々の点検及び迅速な修繕により、生徒が安心して安全に教育活動を行える教育環境の設備・保全に取り組む。	A		
第1学年	1 基本的な生活習慣を確立する。	ア 遅刻者・欠席者の減少に努め、皆勤を目指し、欠課時数増加を抑える。⑦	A	A	・高校生活のスタートで休校、分散登校と混乱しており生活全般指導が不十分な面もあったので基本的な生活習慣を確立できるよう更に指導していきたい。 ・進路実現に向けて、学力が向上するよう指導をしていきたい。
		イ 学年集会やHR等を通して、端正な身なり・明るい挨拶・時間厳守の習慣を身に付けさせる。⑦	B		
	2 基礎学力の向上を図る。	ア 実力診断テスト等のデータを活用し、基礎学力の定着を図る。⑤	A		
		イ 授業のノートや提出物等にきちんと取り組ませる。⑤	A		
3 道徳性を身に付ける。	ア 「道徳」の授業や学校行事等を通して、社会性・人間性豊かな人材を育成する。①	A			
第2学年	1 基本的な生活習慣の徹底を図る。	ア 欠席者・遅刻者の減少に努め、欠課時数の増加を抑える。⑦	A	A	・今年度は、コロナ感染症の影響で出校停止の措置を受けた生徒が多数いた。今後どうかかわからないが、基本的な生活習慣が乱れないようにしていきたい。 ・コロナ禍で多くの進路関係の行事が出来なかった。来年度の計画にその分を取り入れたい。 ・修学旅行はコロナで延期され最善を尽くしたが、中止せざるを得なかった。来年度の代替え措置を計画していきたい。
		イ 学年集会やHR等を通して、端正な身なり・明るい挨拶・時間厳守の習慣を身に付けさせる。⑦	B		
		ウ 規範意識の高揚を促す。⑦	A		
	2 進路意識の高揚を図る。	ア インターンシップや進路ガイダンスを通して、職業意識を身に付けさせるとともに、進路実現に向けて学習意欲を喚起させる。⑧⑨	B		
		イ 各種課外や模試を計画的に実施し、進路希望に対応した学力養成を目指す。⑥	A		
		ウ 授業への取り組み方を重視し、基礎学力の向上と家庭学習の習慣化を図る。④⑤	A		
	3 HR活動を充実させる。	ア HR活動や面談等を通して生徒理解に努め、問題行動の未然防止を図る。⑩⑫	A		
4 修学旅行を充実させる。	ア 修学旅行の事前・事後学習及び各教科での学習を通して、歴史・文化と平和への理解を深める。④	B			
第3学年	1 基本的な生活習慣の徹底を図る。	ア 最高学年としての自覚を持たせ、規範意識の高揚を促す。①	A	A	・学年と進路指導部が一体となって進路指導を行い、生徒の希望・保護者の希望のとおり、実現することができた。 ・三者面談や進路行事を通して、家庭との連絡を密にし、卒業と進路実現に向けて意思疎通を図り、教員間での情報共有することができた。 ・生徒が自主的に適切に行動できる習慣を身に付ける必要がある。 ・進路決定後の遅刻、欠席の更なる減少に努める指導が必要である。
		イ 遅刻・欠席者の減少に努め、皆勤を目指す指導をする。②⑦	A		
		ウ 正しい言葉遣いや態度、服装・頭髪等の指導で、けじめある生活を定着させる。⑦	A		
	2 進路実現のための意識及び学力の向上を図る。	ア 課外や模試を計画的に実施し、進路実現のための学力を養成する。⑥⑩	A		
		イ 就職問題集等の活用を通して、学習習慣を身に付けさせる。⑤⑩	A		
		ウ HRやガイダンスを通して、自己の在り方・生き方を考えさせ、社会人に出るための下地をつくる。⑧⑰	A		
	3 保護者・地域社会との連携を図る。	ア 三者面談や進路行事を通して、進路指導についての共通理解を図る。また、家庭との連絡を密にし、卒業と進路実現に向けて意思疎通を図る。⑨	A		
イ 配慮を要する生徒・家庭について、教員間での情報共有し支援に努めるとともに、外部機関・各校務分掌との連携を図る。⑦⑩		A			

評価基準： A : 十分できた。良い結果が出ている。うまくいっている。

B : よい。まずまずの結果である。

C : やや不十分である。努力を要す。

D : 不十分である。かなり努力が必要である。